

わーく&らいふ

令和7年度 第6号(通巻106号) 12月24日発行 文責:池野

■ CONTENTS ■

【トピック】進路学習・キャリア教育 重複障がい学級の取組

寒さが一段と厳しくなり、年の瀬も押し迫ってきました。

今号では、前号の中学部一般学級の進路学習やキャリア教育の取組に引き続き、重複障がい学級での取組についてお伝えします。

ご家庭でも進路やキャリア教育について話題にいただき、学校と家庭が連携を図りながら進めていきましょう。



I 中学部・高等部重複障がい学級の施設見学・体験

施設見学・体験では、事業所や福祉施設・作業所等での生活や仕事を通して働くことの大切さや社会生活を学び、生活経験の拡大や社会生活への適応力を高めるとともに本校生徒の様子を施設の方々に知っていただくというねらいがあります。

重複障がい学級では、下図のように、中学部1年生から高等部3年生にかけて保護者の方と一緒に施設見学・体験を実施します。

中学部では、半日間の施設見学を行います。3年間をかけて有明圏域の各施設を見学し、施設利用者の方の生活や施設の様子を知ること、将来の生活への意欲につなげます。

高等部では1日程度の施設体験を行います。施設での生活を実際に体験することで、自分の今の力を試す機会となります。このように、早期から計画的な見学・体験を繰り返し、本人がよりよく自己実現する場をともに考えていきましょう。

中学部		高等部	
施設見学		施設体験	
【第1回】6月に半日 【第2回】11月に半日		【第1回】6月に一日間 【第2回】11月一日間	
・はじめての環境(人・場所)での活動 ・卒業後の生活を知る。		・いろいろな施設があることを知る。 ・自分らしい卒業後の生活について考える。	・施設での生活に慣れる。 ・施設との関係を築く。 ・進路先を選ぶ。

※高3については、状況に応じ、複数日の体験や第3回も設定する。

2 今年度の取組

① 中学部の施設見学について

6月に荒尾市にある「わがんせ」、11月に和水町にある「クレヨン」を見学しました。当日は、施設見学後、体操や軽作業など施設の活動を体験しました。また、保護者の方には、施設の概要説明もありました。生徒たちは、自分からあいさつをすることを意識しながら、積極的に実践することができました。利用者の方々の様子を実際に見て、卒業後の生活をイメージすることができたのではないかと思います。



② 高等部の施設体験について

個々の進路希望に応じて、今年度は「たまきな荘」「わがんせ」「Sun☆フラワー」の3施設で体験を行いました。「たまきな荘」ではリフトでの移乗を体験したり、「わがんせ」「Sun☆フラワー」ではハウジングや紙パックのラベル剥がしの作業を経験したりしました。事前学習で立てた個々の目標を意識して、施設の方々とのコミュニケーションを楽しみながら体験を行うことができました。



3 風工房販売会について

重複障がい学級では、毎年、生活介護事業所 風工房の方に來校いただき、買い物学習を行っています。その中で、本校卒業生の働く様子を見たり、実際にインタビューをしたりしながら、小学部段階から社会人の生活について知る機会を設けています。今年は、インタビューの中で、「給料で好きな物を買っている」という話を聞き、その生活に憧れをもつような様子が見られました。



4 進路研修会について

今年度は、初めての取組として、重複障がい学級の保護者を対象に、進路指導主事による進路研修会（5月の授業参観後）を実施しました。荒玉圏域の生活介護事業所の紹介や医療的ケア者の受け入れ状況等について講話があり、最新の情報をお伝えしました。今後も、適宜、情報提供を行っていきます。

